

セット内容

- 専用ハーネス ●PG-110 (3Pカプラー仕様) ●PG-110用ステー(PGST-13)
- マグネット(1.5mm厚)、ドーナツ型ガイドテープx各4枚 ●チェック用LED
- PG-220N (4Pカプラー仕様) ●PG-220N用両面テープ
- 専用メータステー(SPST-02) ●タイラップ(142mm)x8本

車種専用キットにはSPI-110本体が付属しております。

ハーネスキットにはSPI本体は含まれません。

別売りのSPI-110(シフトポジションインジケータ)が必要です。

注意事項

- 本説明書はDJEBEL200 ('99)に対応する内容で記載致しております。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

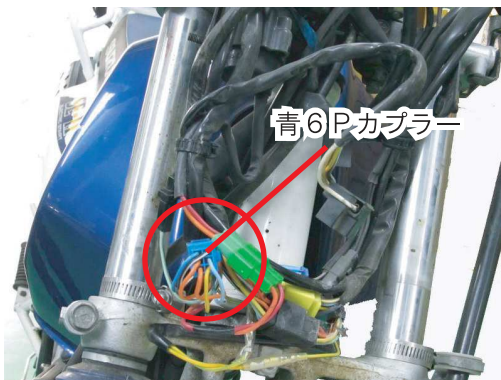
取り付け方法

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してくだ

【取り付け作業の準備】

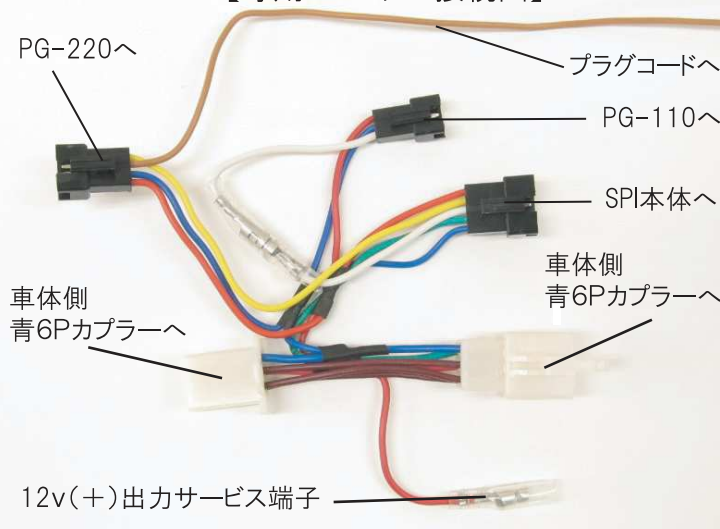
※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①ヘッドライトを外し、青6Pカプラーを分割します。



青6Pカプラー

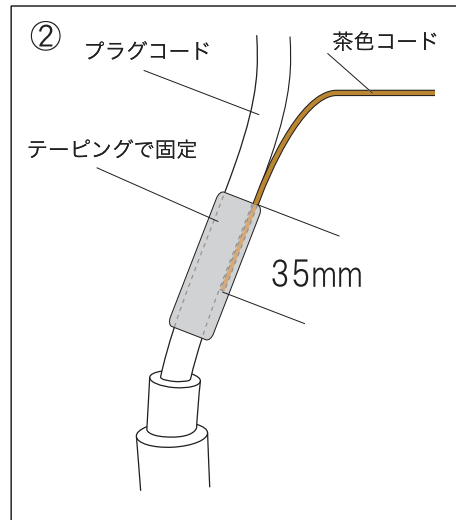
【専用ハーネス接続図】



※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の
接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。

【専用ハーネスの取り付け】

- ①専用ハーネスを車体側青6Pカプラーとの間に割り込ませます。
- ②車体左側タンク下のプラグコードに、専用ハーネスの茶色線を
取り付けます。(下の画像②参照)
- ③PG-220N本体をフレームに両面テープで貼り付けます。
- ④PG-220Nの4Pカプラーと専用ハーネスを接続します。



- 茶色線はプラグコードに対して螺旋状に巻き付けしないでください。
またプラグコードとの密着は、35ミリとしてください。
- 茶色線はフレームや車体側ハーネスなどに沿わせて
タイラップで固定してください。

【SPI本体の取り付け】

- ①下の画像を参考に付属品のSPI本体用ステーを取り付けます。
 - ②SPI本体を両面テープを使って貼り付けます。
- ※ 後で、ギアポジションの登録及び、シフトアップインジケータの
設定を行いますのでSPI本体は仮付けにしてください。

【車種専用キットはシフトポジションデータが登録されております。】



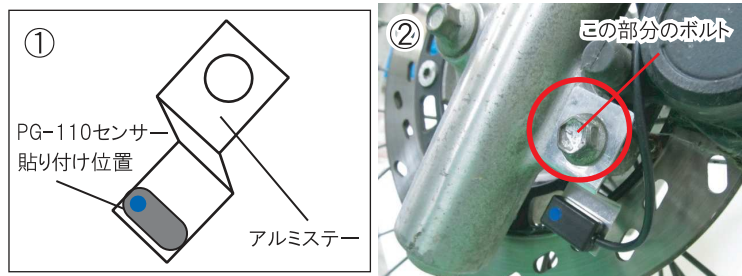
- ③SPI本体のコードを専用ハーネスまで通し、専用ハーネスの
5Pカプラーと接続します。

※ ハンドルを左右に切った際、SPI本体のコードに無理な力が
加わらないよう取り回し、SPI本体のコードは車体側ハーネスなど
にタイラップで固定してください。

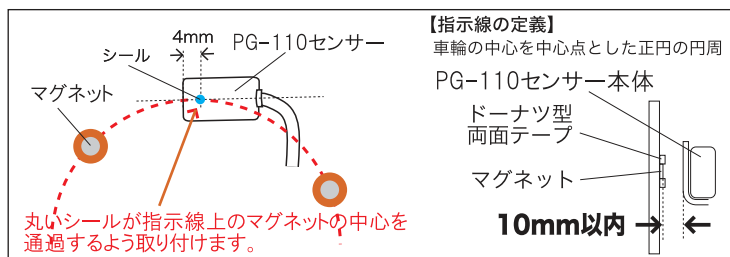
裏面へ続く

【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
- ②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示したフロントフォーク左側ブレーキキャリアパーボルトで共締めします。
PG-110センサーとマグネットの隙間は5～10mmの範囲で調整します。

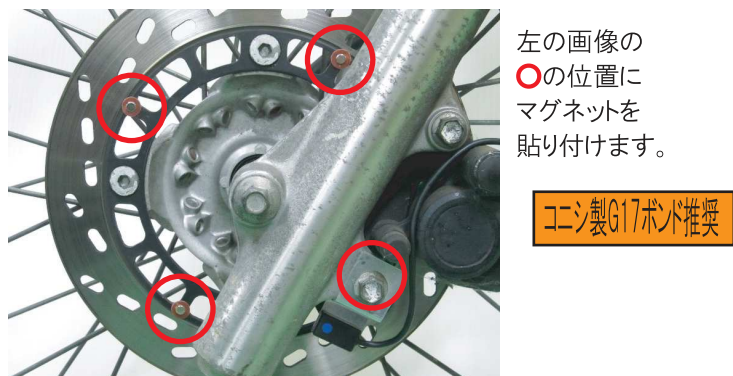
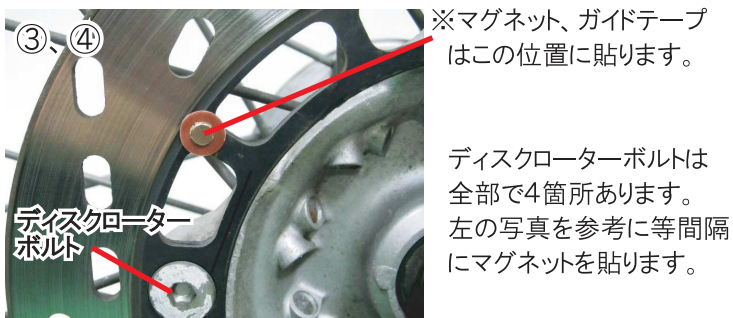


下の枠内の注意点を参考に
フロントディスクローター(右側)にマグネットを**4箇所**貼付けます。



- ③ドーナツ型のガイドテープをディスクローターのフローティングピンを目安に**4箇所**等間隔に貼ります。
- ④マグネットを市販の**金属用ボンド**使って貼り付けます。
※マグネットは必ずホイール中心部に対し等間隔に配置します。
4個あるディスクローターボルトを目安にしてください。

ノーマルディスクローター以外の場合、マグネットは3個以上等間隔で貼り付けてください。



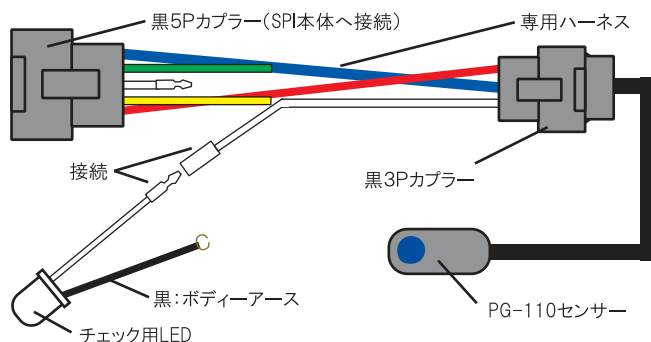
- ⑤PG-110のコードはメーターケーブルに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。

【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

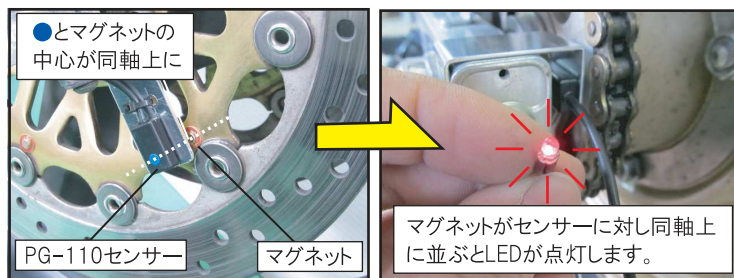
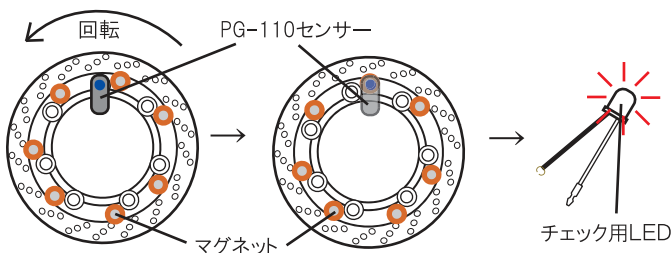
- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線をメインハーネスの黒3Pカプラーの白線へ接続します。
- ②チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)をボディーアースに接続します。
- ③ギアをニュートラルに入れ、キーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

※12vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



チェック用LEDの確認方法



- ※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。
- ※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。
- ※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。
- ヘッドライトを元に戻して完了です。

各ギアポジションの登録、シフトアップインジケータ登録、及びエラー表示の詳細は別売りのSPI-110C1 シフトポジションインジケータ(5Pカプラー仕様)の取扱説明書をご覧ください